

# 「水晶体再建術における角膜切開位置の最適化による術後乱視低減効果についての検討」へ協力をお願い

当院眼科では下記の診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 研究の対象

2022年10月1日から2024年3月31日までに当院で水晶体再建手術を受けられた方

## 研究期間

倫理委員会承認日～2024年 9 月 30 日

## 研究の目的・方法

水晶体再建術において、術前の検査結果に基づいた術中ガイダンスシステムを用いて、症例毎に角膜切開位置を最適化することにより、術後残余乱視を減少させることが可能であるか評価します。そのために術後乱視予測値の絶対値が最小となるような角膜切開位置へ通常的位置(120度)から変更します。角膜切開位置変更により術後乱視を正確に抑えることができれば、今後軽度乱視を合併する白内障症例に対する有用な治療選択肢となると思われます。

## 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：診療録などから、年齢、性別、手術日、角膜切開位置、術前の自覚測定乱視度数、通常切開位置で手術を行った場合の予測乱視度数、最小値となるように切開位置を変更した場合の予測乱視度数、手術1か月後の自覚測定乱視度数、手術1か月後の角膜乱視度数、術中・術後合併症など

## 研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して、新たに患者さんに行っていただくことはありません。費用もかかりません。本研究に関する質問等がございましたら、以下の連絡先までお問い合わせください。

また、情報を当該研究に用いられることに了承いただけない場合には、研究対象といたしませんので、以下の連絡先までお申し出ください。

なお、本研究は島田市立総合医療センター倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合でも、将来にわたって当院における診療・治療において不利益を被ることはございませんので、ご安心ください。

## 研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び島田市立総合医療センターに帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反は存在しません。

## 連絡先

島田市立総合医療センター 眼科

電話番号 0547-35-2111

氏名 森田英典

## 研究責任者

島田市立総合医療センター 眼科

氏名 森田英典